

問 1

【請求項 1】背もたれと、本体フレームと、座部とを備える夏用及び冬用の多用途型マルチ機能椅子であって、前記座部は少なくとも 1 つの回転可能なプレートによって構成されており、前記プレートは少なくとも 3 つのプレート面を備え、前記各プレート面に異なる季節に使用される、または、マッサージを提供するクッション層が固定されていることを特徴とする夏用及び冬用の多用途型マルチ機能椅子。

【請求項 2】前記回転可能なプレートの中央部に回転軸が設けられており、前記回転軸の一方側に回転軸の回転を駆動する駆動機構が設けられている請求項 1 に記載の夏用及び冬用の多用途型マルチ機能椅子。

【請求項 3】前記駆動機構は回転軸に外嵌される歯車であり、プレートが複数ある場合、同期して回転するように、隣接するプレートの歯車が互いに係合する請求項 2 に記載の夏用及び冬用の多用途型マルチ機能椅子。

問 2

【技術分野】

【0001】本発明は食品安全分野における多環芳香族炭化水素（PAHs）を分析する前処理方法に関し、特に揚げ物食品中の多環芳香族炭化水素を測定する方法に関する。

【背景技術】

【0002】現在、揚げ物食品及び揚げ調理や炒め揚げ調理に関する品質・安全性問題が注目されている。多環芳香族炭化水素（Polycyclic aromatic hydrocarbons、略称：PAHs）は、2つまたは2個以上のベンゼン環が線状、角状またはクラスター状に配置された化合物であり、食品や環境中に広く存在する残留性有機汚染物質として、最も顕著な特性が発がん性である。PAHs は既に多くの国や国際組織に食品中の有害物質測定の重要な指標の一つとされている。これまでの研究により、油条（中国式の揚げパン）に PAHs が含まれていることが分かっているが、この代表的な中国式の小麦粉の揚げ物食品中の PAHs について、信頼性の高い測定方法はまだ確立されていない。現在、中国国内外で揚げ物食品中の PAHs の測定に関する研究が多数行われているが、前処理工程が非常に複雑で且つ有機試薬を大量に消費する必要がある。

問 3

【発明を実施するための形態】

【0012】図 1 に示すように、本発明に係る遮断スイッチ及び／または接地スイッチのオン・オフ状態監視システムは、スイッチキャビネット 21 内に設置されるカメラ 22 を

備えており、前記カメラ 2 2 はネットワーク伝送装置（ネットワーク伝送装置はインテリジェントビデオエンコーダ及びスイッチングハブを指す。カメラはまずアナログ信号線を介してインテリジェントビデオエンコーダに接続され、アナログ信号をデジタル信号に変換した後、インテリジェントビデオエンコーダはそのポートによりスイッチングハブに接続され、スイッチングハブはさらにローカルエリアネットワークを介してネットワーク伝送を実現する）に接続され、画像をビデオ分析制御センタ（コンピュータにより構成される）に伝送することができるようになっている。前記スイッチキャビネット 2 1 内に 4 つのカメラ 2 2（本発明に係るブレードの接触子刀闸触頭は 4 組となっているため、カメラの数は 4 つでもよく、もちろん 4 つより多くてもよい）が設置されており、前記カメラ 2 2 はそれぞれブレード 2 5 の接触子に対応する位置に設置されている。